

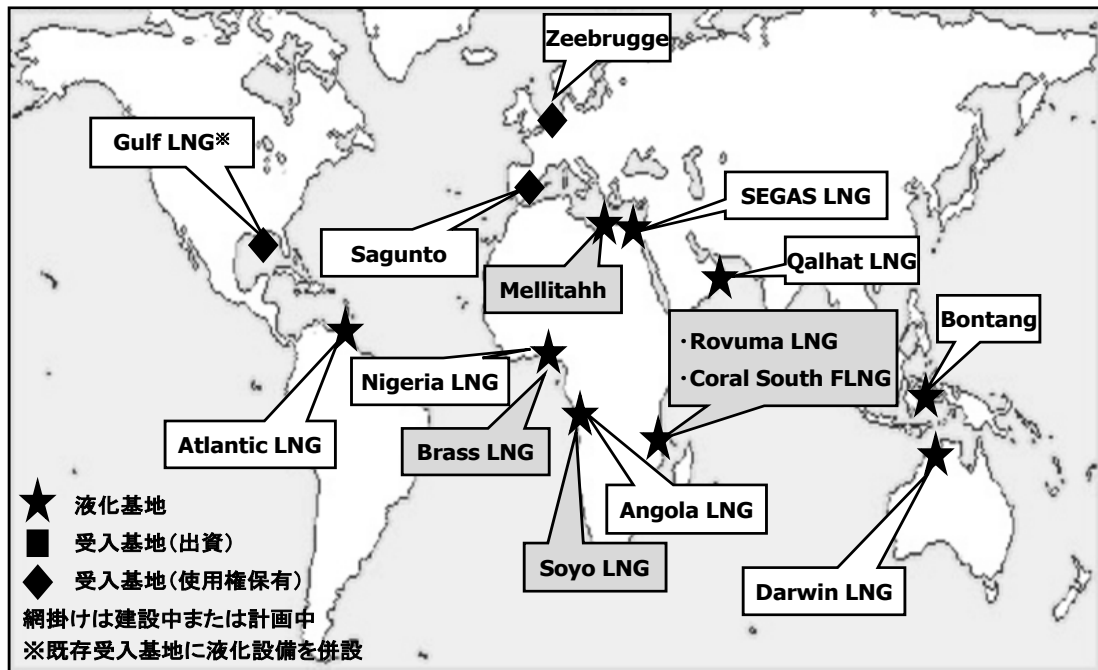
11. ENI

(1) 企業概要

ENI は 1953 年にイタリア国営の石油会社として設立され、1995 年に民営化された。世界 66 カ国において、石油・ガスの探鉱・開発、Gas & Power、精製及び石油製品のマーケティング、エンジニアリング事業 (Saipem: ENI 30.54%出資) などを行っている。2019 年末時点の政府保有株式は全体の 30.10%となっている。

2019 年末の石油・ガス確認埋蔵量は 72.68 億 boe(前年比 1.6%の増加)であった。そのうち天然ガス埋蔵量は 19,832Bcf である。また、2019 年の炭化水素の生産量は 187.1 万 boe/d(前年比 1.1%増)であった。そのうち天然ガス生産量は 5.29 Bcf/d(前年比 0.5%増)であった。また、天然ガスの販売量は 73.07 Bcm(前年比 4.7%減)となっている。

ENI の LNG 液化・受入基地図



(2) LNG 関連

ENI は早くから Nigeria LNG 等、アフリカの LNG 事業へ参画してきた。2019 年 12 月には Nigeria LNG Train 7 が最終投資決定(FID)を行った。また、2020 年 1 月には Train 1-3 から ENI が年間 150 万トンを引き取る、10 年間の売買契約を締結した。モザンビークの第 4 鉱区(Area4)での液化プロジェクトでは、陸上式、浮体式の 2 プロジェクトが検討・開発されており、浮体式の Coral South FLNG は 2017 年末に FID を行い、2022 年の操業開始を予定している。一方、陸上の Rovuma LNG プロジェクトは当初 2020 年の FID を目指し、2019 年 10 月には EPC 契約を日揮、Fluor、TechnipFMC 連合と締結していたが、COVID-19 の影響を受け、延期を発表している。

IV. 主要企業別 LNG 事業動向

2020年2月、ENIは2012年から操業を停止しているエジプト Damietta 液化設備の再稼働に向けてエジプト政府、合弁企業らと合意に至ったが、その後の市況変化によって取引完了には至らず、Damietta の再稼働は延期となった。それでも、2020年7月 ENI は bp、Total とエジプト North El Hammad 鉱区 Bashrush 地域で新たなガス田を発見しており、エジプトでのビジネスを拡大している。

ENI が出資する LNG プロジェクト

国名	プロジェクト名 (Train名)	液化能力 (万トン/年)	生産開始	出資者	主要仕向地
ナイジェリア	Nigeria LNG (Train 1, 2)	640	1999年	Nigeria LNG (NNPC 49%, Shell 25.6%, Total 15%, ENI 10.4%)	欧米
	(Train 3)	320	2002年		
	(Train 4, 5)	820	2005年		
	(Train 6)	410	2007年		
	(Train 7)	760	2025年 (建設中)		
	(Train 8)	N.A.	計画中		
	Brass LNG	1,000	計画中	NNPC 49%, Total 17%, ENI 17%, Oando 17%	N.A.
エジプト	SEGAS LNG / Damietta (Train 1)	500	2004年	SEGAS (Union Fenosa Gas (ENI 50%, Naturgy 50%) 80%, EGPC 10%, EGAS 10%)	欧州
リビア	Mellitah	350	計画中	NOC, ENI	N.A.
アンゴラ	Angola LNG (Train 1)	520	2013年	Chevron 36.4%, Sonangol 22.8%, bp 13.6%, Total 13.6%, ENI 13.6%	N.A.
	(Train 2)	N.A.	計画中	Sonangol 40%, Gas Natural West Africa (Naturgy, Repsol) 20%, ENI 20%, GALP 10%, EXEM 10%	N.A.
	Soyo LNG	520	2022年 (計画中)	Chevron 31%, ENI 25.6%, Sonangol P&P 19.8%, Total 11.8%, bp 11.8%	N.A.
モザンビーク	Rovuma LNG	1,520	2025年 (計画中)	Mozambique Rovuma Venture (ENI 35.7%, CNPC 28.6%, ExxonMobil 35.7%) 70%、 Galp Energia 10%、ENH 10%、 KOGAS 10%	欧州・アジア
	Coral South FLNG (浮体式)	340	2022年 (建設中)	Mozambique Rovuma Venture (ENI 35.7%, CNPC 28.6%, ExxonMobil 35.7%) 70%、 Galp Energia 10%、ENH 10%、 KOGAS 10%	欧州・アジア
オマーン	Qalhat LNG (Train 3)	330	2005年	Qalhat LNG (オマーン政府46.84%, Oman LNG 36.8%, Union Fenosa Gas (ENI 50%, Naturgy 50%) 7.36%, 三菱商事 3%, 伊藤忠 商事 3%, 大阪ガスオーストラリア 3%)	欧州・アジア
インドネシア	Bontang, Badak (Train A-H)	2,220	1977年	PT Badak NGL (Pertamina 55%, VICO (ENI 50%, Saka Energi 50%) 20%, Total 10%, JILCO 15%)	アジア
オーストラリア	Darwin LNG (Train 1)	370	2006年	Santos 68.4%, INPEX 11.4%, ENI 11.0%, JERA 6.1%, 東京ガス 3.1%	アジア

また、ENI はスペイン、ベルギー、米国で LNG 受入基地のキャパシティー使用权を保有している。

ENI が出資またはキャパシティー使用权を保有する受入基地

国名	基地名	出資者	受入能力 (万トン/年)	受入開始
スペイン	Sagunto	Saggas (Enagas 72.5%, 大阪ガス 20%, OmanOil 7.5%)	640	2006年
ベルギー	Zeebrugge	Fluxys	670	1987年
アメリカ	Gulf LNG – Pascagoula, MS (液化基地を併設予定)	Kinder Morgan 50%, GE 40%, AES 10%	882	2011年

ENI のポートフォリオ LNG 契約(供給)

輸入国	買主	契約数量 (万トン/年)	供給開始	契約年数	受渡し条件
スペイン	Uniper	58	2007年	2007-2022年 (15年)	DES
パキスタン	Pakistan LNG Limited	年12カーゴ	2017年	2017-2032年 (15年)	DES

(3) 今後の戦略

ENI は 2020 年 2 月にバーレーン、2020 年 6 月には韓国 KOGAS とそれぞれエネルギーに関する協力協定 MOU を締結、豊富な経験を生かし、LNG を含めたエネルギーの安定供給や低炭素化等で協力する。

2050 年に向けた長期戦略を発表し、上流事業としては 2025 年には石油ガスの生産量拡大をやめ、特に原油の生産は削減し、2050 年には生産量の 85%をガスにする。LNG ポートフォリオについては、2019 年の年産 950 万トンから 2025 年に年産 1,600 万トンに拡大するとしている。

環境対策に積極的に取り組むこととし、2020 年 6 月、ENI は上流の効率化とカーボンキャプチャーを進める天然資源部門と、発電・製品・マーケティング部門を化石燃料からバイオ、ブルー、グリーンへと進化させることに特化するエネルギー進化部門を設置した。上級企業によるメタンリーク削減に取り組む団体 OGCI にも参加しており、ENI は上流事業での Scope1, 2 における炭素排出を 2030 年までにネットゼロ、Scope3 まで含めた排出量を 2050 年までに 80% (2018 年比) 削減する目標を掲げている。再生可能エネルギーについても発電容量 2025 年 5GW、2030 年 15GW を目指す。さらに、林業への直接的介入を行い、年間 2000 万トンの CO₂ 吸収を 2030 年までに行うとしている。